



100名からのスタッフがブック印刷のページデータを制作するプリプレス部



システム部が稼働しているデータベースワークフロー



製本室全貌。手前がハイデルベルグ社製のスター折機、中央に中綴し3ライン、奥に無綴し2ラインが見える

印刷の未来見据えスピードマスターXL106を導入したアイワードのスマートファクトリー 情報処理技術を活用したクライアント別プロフィールを原動力に



教科書や専門書籍で活用する図版作成スタッフ

印刷とコンピュータ機能
組み合わせ理論を起源に

アイワードは、印刷業界の未来を見据え、スピードマスターXL106を導入したスマートファクトリーを構築している。このスマートファクトリーは、情報処理技術を活用し、クライアント別プロフィールを原動力に、印刷の生産性を大幅に向上させている。



ハイデルベルグ社製の印刷機が並ぶ、製本印刷室。左からXL106、105、SM102が見える

高速・自動化機XL106の活かし方

アイワード 奥山敏康社長に聞く
強力なプリプレス部門活かし
高速「ブック印刷」路線築く



「コンピュータと印刷の本」を追求して、情報処理の技術を生かす印刷に活用させた奥山社長

その経験と成果が今日の基礎造る

奥山社長は、印刷業界の未来を見据え、情報処理技術を活用し、印刷の生産性を大幅に向上させている。その経験と成果が今日の基礎造る。



「書籍別カルテ」により担当者が変わっても同じ品質の仕事が出来る



図版にだけ特化した「書籍別カルテ」

他社がやらない事をやる
やるなら一番手を目標

アイワードは、他社がやらない事をやる。やるなら一番手を目標とする。その経験と成果が今日の基礎造る。

数千部単位のロットと
頁数の多い書籍印刷を

アイワードは、数千部単位のロットと頁数の多い書籍印刷を得意とする。その経験と成果が今日の基礎造る。



お客様とプリプレスを結ぶ「原稿取扱管理表」は、原稿やメディアなどの往来記録でもある



プリプレス工程管理担当者は、全て経験者である。日夜変化していくブック印刷の工程管理をプリントナビエンスに反映していく



プリプレス部門にはオペレーター内校の他に、校正専門部門がある



ブック印刷の重要原稿は色で識別し手渡しを原則としている



エンジニア集団であるシステム部は、お客様毎、書籍毎にプログラムをブック印刷物の情報処理設計を行っている



校正ゲラに添付する「確認書」で、お客様とのコミュニケーションと品質向上を図っている

石狩工場の印刷製本と 本社プリプレス部門繋ぐ

アイワードは、石狩工場の印刷製本と本社プリプレス部門を繋ぐ。その経験と成果が今日の基礎造る。

書籍印刷の比率8割目指し 生産管理と見える化活かし

アイワードは、書籍印刷の比率8割目指し、生産管理と見える化を活かす。その経験と成果が今日の基礎造る。

アイワードは、印刷業界の未来を見据え、情報処理技術を活用し、印刷の生産性を大幅に向上させている。その経験と成果が今日の基礎造る。

アイワードは、印刷業界の未来を見据え、情報処理技術を活用し、印刷の生産性を大幅に向上させている。その経験と成果が今日の基礎造る。